

## 第13回 建政部セミナー

# 豊かな住生活を持続させるために行政ができること ～「ぐんま 住まい・暮らしのあり方ガイドライン」をめぐって～

### ■ 趣旨

少子高齢化や単身高齢者世帯の増加等が進む中、将来にわたって豊かな「住まい・暮らし」を持続していくためには、地域住民の自助・互助・共助、市町村等の公助による地域力の向上が求められます。

今般、群馬県住宅政策課では、将来の世代が「群馬で暮らしたくなる」「群馬に住み続けたくなる」「群馬で子どもを育てたくなる」ような、住まいや暮らしを実現するための今後の方策に関するビジョンを共有し、県民・民間事業者等・市町村・県の各主体が中長期的に同じ方向を目指すための「ぐんま 住まい・暮らしのあり方ガイドライン」を策定しました。

第13回建政部セミナーでは、本ガイドラインの策定に携わられた東京大学の<sup>大月敏雄</sup>教授に、本ガイドラインの意義や住生活に関し住宅政策に求められることについて、また、群馬県の<sup>白鳥雅和</sup>氏に本ガイドラインの策定趣旨・プロセスや内容、今後の方向性等について、ご講演いただきます。併せて、まちづくり・住まいづくりに経験豊富な方々を交えたトークセッションを予定しております。

地方公共団体等の方々が、まちづくり・住まいづくりにおける役割や施策のあり方を検討し実践するうえでの一助となることを期待しております。是非ご参加ください。

### ■ 開催日時・会場

- ・日時:令和元年10月31日(木)14:00～17:00
- ・会場:さいたま新都心合同庁舎2号館 5階共用会議室501

### ■ 内容

1. 講演①『住生活と住宅政策』  
大月 敏雄 氏(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授)  
※「ぐんま住まい・暮らしのあり方検討会」座長
2. 講演②『ぐんま 住まい・暮らしのあり方ガイドライン』  
白鳥 雅和 氏(群馬県 県土整備部 建築課 次長)  
※ 昨年度まで住宅政策課において、ガイドラインの策定に尽力。
3. トークセッション ～行政の様々な立場・視点から～  
大月 敏雄 氏(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授)  
白鳥 雅和 氏(群馬県 県土整備部 建築課 次長)  
小林 弘幸 氏(長野県建設部建築住宅課 課長)  
吉澤 輝男 氏(前橋市都市計画部建築住宅課 課長)  
丸山 宏司 氏(前 関東地方整備局建政部 住宅調整官(現 復興庁企画調査官))

### ■ 申込み方法・問合せ先

- ・令和元年9月30日(月) 報道発表資料 別紙2により、10月17日(木)までに下記申込先のアドレスまでメールでお申し込みください。
- ・申込先:国土交通省関東地方整備局建政部計画管理課 「建政部セミナー」事務局  
E-mail: ktr-keikakukanri@mlit.go.jp
- ・問合せ先:関東地方整備局 建政部 住宅整備課 課長 横田圭洋、課長補佐 大塚幹也  
TEL:048(600)1907 (内線6181,6182)